

前腕回旋制限を要する骨折症例に対する手関節可動式前腕装具の臨床的使用経験 — 後向きケースシリーズ —

1. 研究の対象

2019年1月から2026年12月までの期間に、南和歌山医療センターにて、肘関節、前腕回旋、手関節の制限を要する骨折または外傷症例に対し、前腕回旋および肘関節の制動を行いながら、手関節部を着脱可能とし手関節運動が行えるよう工夫した装具を使用した患者。

2. 研究目的・方法

上記患者について、診療録に記載された既存情報を用いて、装具導入の判断過程、装着状況、安全性および臨床経過を後向きに整理することを目的としています。
本研究は、診療の一環として使用された装具の臨床的使用経験をまとめるものであり、新たな検査や治療を行うものではありません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、原疾患、受傷機転、治療内容（手術の有無・術式等）、装具使用部位（前腕・手関節）、装具構造の概要、装着状況および使用方法、使用中の問題点や臨床経過（診療録に記載された可動域変化や使用感等）、診療上必要に応じて撮影された単純X線画像（新たな撮影は行いません）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒646-8558

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター

研究責任者：所属 リハビリテーション科

氏名 藤澤 秀生

電話：0739-26-7050